

まえがき

本研究資料は、当研究所で実施したプロジェクト研究「被災地域等の復興過程等の分析による農山漁村の維持・再生に関する研究」（平成 24 ～ 26 度）のうち、「農村集落の維持・再生に関する研究」の成果をとりまとめたものである。

わが国の農(山)村は、都市部に先駆けて人口減少と高齢化が進行しており、地域社会の基礎単位である農業集落をみれば、集落の小規模化・高齢化によって古くから継続されてきた共同活動や相互扶助の機能、いわゆる「集落機能」が弱体化しはじめている。そしてこのことが、農業生産の停滞ばかりでなく農地や森林を含む地域資源の荒廃を招く要因ともなっている。さらに今後も集落人口の減少と高齢化が進むことになれば、これら集落機能が無くなった後には無住化による集落消滅すら危惧され、農村地域が有する多面的機能が失われていく危険性が高まっている。

したがって、このような事態を回避するためには、担い手がまだ存在しているうちに、農村の維持・再生、地域活性化を図るための取組を早急に開始する必要がある、そのための国、地方公共団体の支援が求められている。

この研究は、①集落機能が弱体化しつつある農業集落やそれら集落が立地する農村地域の現状を把握するための統計分析、②集落の範囲を越えた広域的地域組織形成の実態把握、③多様な主体（地域サポート人、NPO 法人・社会福祉法人等の非営利組織）との連携による農村再生に向けた取組事例の分析からなる。人口減少と高齢化が進む集落や農村地域の現状および動向とその地域的特徴、さらには趨勢での将来展望を統計分析から明らかにした上で、農村地域内部あるいは外部との多様な「連携」によって、地域資源や地域コミュニティ等の維持・再生、地域活性化を目指す新たな取組事例の分析を行い、それぞれの現状と課題を検討した。本研究資料が、集落や農村地域の維持・再生を図るための各種施策の検討に活用頂ければ幸いである。

なお最後に、本研究に際し、統計分析のためのデータを提供頂いた農村振興局農村政策推進室、現地調査にご協力を頂いた各組織および地方公共団体の関係者の皆様に、深く感謝申し上げる次第である。

平成 27 年 3 月

農林水産政策研究所
農村再生プロジェクト
集落再生チーム